（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

１　基本情報

施設名称	長居球技場
施設所管課・担当	経済戦略局　スポーツ部　スポーツ施設担当
条例上の設置目的	市民の健康増進と文化的な都市生活の確保に寄与することを目的とする。
業務の概要	各種競技大会やイベント開催など市民が身近にスポーツに触れることができ、また気軽に健康づくりや体力づくりを行う場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80％以上
指定管理者名	一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ
指定期間	令和３年４月１日～令和33年３月31日（30年間）
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月31日

２　管理運営の成果・実績（球技場）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		73.4%
達成率		91.8%

管理運営の成果・実績（南北練習場）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		73.4%
達成率		91.8%

利用状況（球技場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	18.2%	21.3%	-3.1%

利用状況（北練習場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	82.6%	79.0%	3.6%

利用状況（南練習場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	85.8%	79.0%	6.8%

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

３　収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績			0	
	計画				
利用料金（使用料）収入	実績	188,785,562	136,495,653	58,974,562	利用料の算定基準について、今年度より運用の適正化を図ったため増加
	計画	129,811,000	129,811,000		
自主事業収入	実績	338,432,371	365,552,225	49,132,371	計画時より自主事業の増加
	計画	289,300,000	289,300,000		
その他収入	実績	114,466,783	124,659,847	90,266,783	計画時想定外の収入の増加。2025年度休業損失補填額も含む。
	計画	24,200,000	24,200,000		
合計	実績	641,684,716	626,707,725	198,373,716	
	計画	443,311,000	443,311,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	48,286,998	80,801,099	-536,002	概ね計画どおり
	計画	48,823,000	48,101,000		
物件費	実績	250,899,442	261,189,787	47,452,442	機械設備保守点検、芝生管理費等の物価高に伴うコスト増加
	計画	203,447,000	203,447,000		
修繕費	実績	17,608,202	60,134,051	-4,391,798	計画時より低コストで修繕を実施
	計画	22,000,000	22,000,000		
自主事業支出	実績	39,818,642	20,630,436	12,565,642	計画時より自主事業の増加
	計画	27,253,000	27,253,000		
その他支出	実績	148,450,894	185,925,708	57,080,894	物価高に伴うコスト増加
	計画	91,370,000	91,370,000		
合計	実績	505,064,178	608,681,081	112,171,178	
	計画	392,893,000	392,171,000		

４　管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	91.8%	B	

（２）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・内部書類のペーパーレス化の推進 ・再生エネルギーの活用（太陽光発電、雨水再利用） ・リモート会議推進による移動経費節減 ・カラーコピーの原則禁止 ・使用エリア以外の消灯指示 ・エアコン温度設定の省エネ意識強化 ・クールビズ及びウォームビズ推進によるエネルギーコスト削減	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
	施設の管理運営	B	
	事業計画の実施状況	B	
	施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性		B	

（様式５）

令和７年度　指定管理者年度評価シート

5　利用者ニーズ・満足度等

〇利用者からの要望、苦情、トラブル対応事例（主なもの）とその対応状況
・夏場、バックスタンドコンコース内が気温・湿度が高く暑すぎるという声に対して、冷風機を試合開催時に設置した。
・北スタンド西側および南スタンドの階段について、「夜間は暗くて危ない」との利用者からの意見を受け、蓄光式のすべり止め材を設置し、転倒防止および夜間の視認性向上を図った。
・車いす席について、「スロープ幅が狭く上りづらい」「スペースが狭く取り回しが困難」との利用者からの意見を受け、スロープおよび観覧エリアの拡張を実施し、利便性および安全性の向上を図った。
・騒音対策として、メインスタンド南北に計8基の常設天井スピーカーを増設（約2,200万/税別）したことにより、フィールド周辺に設置していた仮設スピーカーを廃止し、近隣への音漏れ低減を図った。

〇利用者の意見や満足度の把握・反映の取り組み状況
・アンケート取得により、利用者意見を把握。（別紙１）
・取得した意見をより良いサービス提供、ハード整備に反映させる。
・経年劣化による故障や不備には随時対応している。

6　外部専門家意見

利用者満足度については、目標値を下回り、昨年度比でも約10％低下していることから、改善すべき課題が残る結果となっている。アンケート結果や苦情・要望、運営データ等を用いて要因を詳細に分析し、課題を明確化したうえで、具体的な改善策を着実に実行されたい。
また、球技場の稼働率は、令和４年度以降20％以上を維持してきたものの、当年度は20％を下回っている。昨年度の５年評価では、天然芝の高い品質を保ちながら稼働日数が多い点が評価されていることを踏まえ、民間事業者ならではの創意工夫や営業努力により、稼働率の回復・向上に努めていただきたい。
収支面では、収入・支出ともに計画を上回っているが、前年度比では収入が増加している一方、支出を大きく削減できており、効率的な運営に一定の成果が認められる。次年度も管理費の縮減に留意しつつ、稼働率および利用者満足度の向上という課題に重点的に取り組まれたい。そのためにも、業務そのもののの効率化を図って課題のための時間の捻出も図ってもらいたい。

7　最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況 施設の設置目的の達成及びサービスの向上 施設の管理運営 事業計画の実施状況 施設の有効利用 社会的責任・市の施策との整合性	B	
総合評価	B	